

## 新任委員紹介



ASBJ 委員  
 (株式会社みずほフィナンシャルグループ 主計部長)

ひらま ひさあき  
 平間 久顕

本年8月から企業会計基準委員会（ASBJ）の非常勤委員に就任しました平間久顕と申します。現在、株式会社みずほフィナンシャルグループの主計部長として、銀行持株会社の財務報告作成業務に携わっております。

25年前、銀行に就職して最初の配属先が経理部でしたが、気がつけば銀行員としての過半を経理部門に在籍することになりました。その間、銀行経理を巡る環境とその内容は大きく変貌し、いわゆる会計ビッグバン以降の10年間を振り返りましても、その導入に当たって相当な時間と体力をかけた多くのプロジェクトに関わることになりました。四半期開示の制度化、米国会計基準によるニューヨーク上場、日米SOXへの対応、そして新たな会計基準や基準改訂に関連するものとしては、平成22年3月期決算から適用された金融商品の時価開示への対応が記憶に新しいところがあります。また、この1年あまりは国際財務報告基準（IFRS）の適用をにらんだ社内プロジェクトチームのメンバーとして、その基準改訂動向の把握と分析、会計処理方針書の作成、業務プロセスへの影響調査にも注力してきました。

これまで、会計基準については、公開草案等に対して業界団体を通じて意見を発信し、基準発効後は会計監査人との議論を重ね、適用開始に向けて社内体制を整備するという一連のプロセスを通して、財務諸表作成者の立場で接することが多かったと思います。このような私が会計基準設定主体の委員に就任させていただくことになり、委員会で議論されるテーマの重要性とともに、委員としての責任の重さを痛感し、一層の自己研鑽に努めていかなければならないと感じております。日本におけるIFRSの適用を巡る議論が新たな展開を見せ始めている中、財務諸表の作成者や利用者等、様々な関係の皆様にご教示いただきながら、地道に委員の役目を果たして参りたいと考えております。

私は、会計の専門的知見や経験において、他の委員の皆様足元にも及びませんが、「我が国における会計・ディスクロージャーの諸制度の健全な発展と資本市場の健全性の確保に寄与する」という財務会計基準機構（FASB）の目的を肝に銘じ、会計の実務家としての視点をもって、日本の会計諸制度の発展に微力ながらお役に立つことができれば幸いです。

宜しく申し上げます。